

2026年5月12日

報道関係者各位

株式会社ニュースダイジェスト社  
愛知県機械工具商業協同組合

**前回展上回る272社・団体、1378小間で、今年度最大級の産業用ロボット専門展を開催  
「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026」を6月11日から愛知県常滑市で**

株式会社ニュースダイジェスト社（主催、名古屋市千種区、代表取締役社長・八角秀）と愛知県機械工具商業協同組合（共催、理事長・水谷隆彦）は6月11日（木）～6月13日（土）の3日間、産業用ロボットと自動化システムの専門展「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN（ロボットテクノロジー・ジャパン、RTJ）2026」を愛知県常滑市のAichi Sky Expo（アイチ・スカイ・エキスポ、愛知県国際展示場）で開催します。

RTJ2026は、製造業や物流などの産業が集積する中部地方で開催される、産業用ロボットや自動化システムの専門展です。出展者数は272社・団体で、1378小間（5月12日時点）の規模で開催します。産業用ロボットや自動化システムの展示会としては、西暦の奇数年に東京で開かれる国際ロボット展（iREX）に次ぐ国内2番目の規模で、前回展を上回る規模での開催が決定しました。現在、事前来場登録を受け付け中です。事前来場登録をすると、入場料金（通常1000円）が無料になります。詳細は、公式ウェブサイト（<https://robot-technology.jp>）でご確認いただけます。

本展には主要な大手ロボットメーカーだけでなく、ロボットハンドやセンサーなどの周辺機器、無人搬送車（AGV）、計測システムなど、自動化に関わる幅広い分野の企業が出展します。工作機械などの大手産業機械メーカーも多数出展しており、産業機械や機器と産業用ロボットが連携した実用的な自動化システムの展示にも注目です。

自動化需要が急拡大する物流分野向けのロボットや搬送ソリューションの出展も充実しています。食品や包装業界向けの展示と合わせて、現場への導入を見据えた具体的な提案が多数そろいます。加えて、RTJ2026は近年注目が高まるヒト型ロボット「ヒューマノイド」が初登場します。製造現場への導入を想定したデモが披露される予定で、次世代の自動化技術をいち早く体感していただけます。

会期を通じて会場内で実施するセミナーでは、大手ロボットメーカーや搬送機器メーカーなどから講師を招き、ロボット化や自動化の将来像について講演します。国産ヒューマノイドをテーマにした講演では、開発動向や実用化に向けた展望を講師が語ります。

今回展でもロボットの現場への設置やシステム構築を担うシステムインテグレーター（SIer、エスアイアー）が集まる「SIerゾーン」を用意しました。同ゾーンでは実践的で現場の用途に近い「ロボットの使い方」の展示が見込まれ、より具体的な導入イメージを描ける場を目指します。

また、主催企画展示として「産業用ロボット体験ゾーン」を設けます。各種ゲームや体験を通して産業用ロボットへの理解を深めていただくコーナーです。ロボットの安全性や扱いやすさを感じてもらい、導入検討中の来場者や新しい導入の形を模索する方へのヒントを提示します。

【主催企画展示】

●名称：産業用ロボット体験ゾーン

●内容：ロボットの導入を考える方へ、触れて学べる 7つのシステムをご紹介します

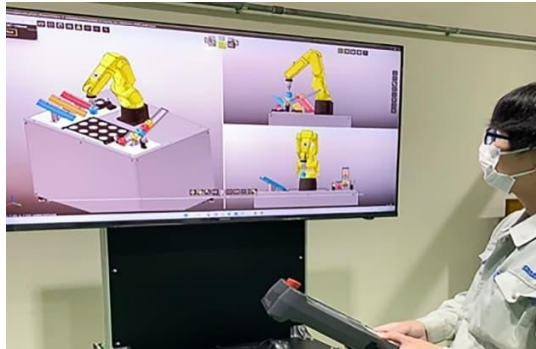
①AI バスケロボ「CUE (キュー)」



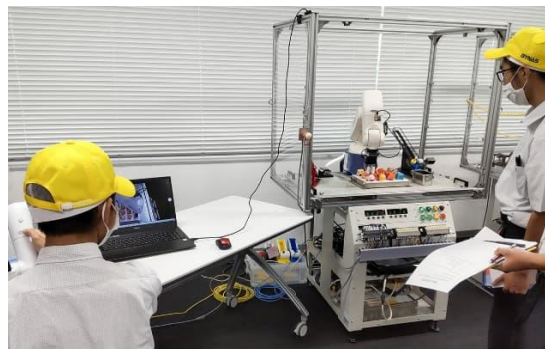
②人型双腕ロボット「NEXTAGE (ネクステージ)」



③ロボット操作演習機「デジタルトレーナー」



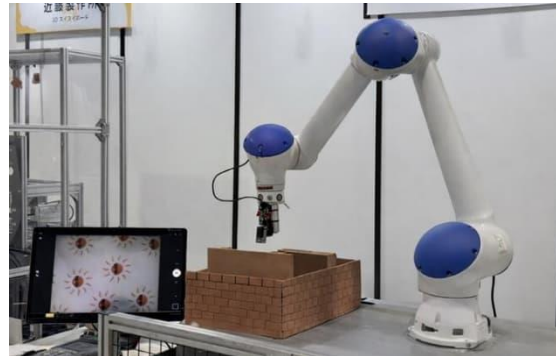
④ロボット実習体験装置「ロボトレーナー」



⑤ロボットとパズル組み立て競争



⑥ロボット操作で文字探索ゲーム



⑦ロボットさじ投げ対決



●開催場所：会場内 F ホール内

●開催時間：開催終了時刻の 30 分前まで入場可能 (6 月 13 日のみ 15:30 最終受け付け)

- 協力：中部地域 SIer 連携会、日本ロボットシステムインテグレータ協会
- 参加料金：無料
- ※予約不要ですが、主催者都合により受け付けを見合わせる場合がございます

**【セミナー概要】**

●6月11日（木）

基調講演「ロボット化・自動化が当たり前の時代に」

**講演 1**

時間：13:00～14:00

登壇者：ファナック 常務執行役員 ロボット研究開発統括本部長 兼 ロボット機構研究開発本部長 兼  
ロボットアプリケーション技術本部長 安部 健一郎 氏

「人手不足の課題解決に向けた自動化への取り組みとオープンプラットフォームによるフィジカル  
AIの加速」

**講演 2**

時間：14:15～15:15

登壇者：ダイフク ビジネスイノベーション本部 副本部長 浮須 賢一 氏

「完全自動化ソリューションと課題」

**講演 3**

時間：15:30～16:30

登壇者：ボーイングジャパン ボーイング・テクノロジー・イノベーション・ジャパン ロボティクス  
&オートメテッド・プロダクション・システム・エンジニア 松尾 大介 氏

「技術革新と生産現場での成熟度向上－安全性と成立性の両立」

●6月12日（金）

①ロボット活用スタートガイド～事例で学ぶ導入のコツ～

時間：10:30～12:30

主催：愛知県

②ロボットに命を吹き込む仕事～ロボットシステムインテグレータの紹介

時間：13:30～16:30

主催：日本ロボットシステムインテグレータ協会

●6月13日（土）

特別セミナー「国産ヒューマノイドロボットの可能性」

**講演 1**

時間：10:30～11:15

登壇者：トヨタ自動車 未来創生センター R-フロンティア部 ヒューマノイドロボット研究領域リサ  
ーチリーダー 野見 知弘 氏

「トヨタ自動車未来創生センターが取り組むヒューマノイドロボット開発について」

講演 2

時間：11:30～12:15

登壇者：カワダロボティクス 取締役会長 川田 忠裕 氏

「人と一緒に働くヒト型ロボットの開発と展望～なぜカワダはヒト型ロボットをつくり続けるのか？～」

- 開催場所：会場内 D ホール「主催者ステージ」
- 聴講料金：無料
- 申し込み方法：公式ウェブサイト (<https://robot-technology.jp>) セミナーページから受け付け
- ※6月12日(金)に開催予定の②のみ、<<https://www.robo-navi.com/webroot/siersdayapplication/275.php>>からお申し込みください。
- 定員：各セミナーとも 300 人(先着順)

【併催イベント】

- 名称：robot digest 公開取材
- 内容：これまで多数のロボット導入事例を発信してきたウェブマガジン「robot digest (ロボットダイジェスト)」が、RTJ2026の会場で「公開取材」を実施します。現役記者と、ロボット導入に成功した中小製造業3社が登壇し、導入成果や失敗を防ぐノウハウなど、ロボットユーザーだからこそ語れる“リアルな声”をお届けします。
- 開催場所：会場出入口付近モール内
- 申し込み方法：予約不要

【会場速報】

RTJ2026公式メディア「ロボットダイジェスト」上に、特設ページ「会場速報」を設けます。RTJ2026の見どころなどをいち早く発信します。各社の新製品や最新技術の紹介だけでなく、来場者の関心を集める実演の様子や出展者の意気込みなど展示会の雰囲気、会場内の混雑状況といった情報を随時掲載します。開幕直前の6月8日(月)に公開を開始する予定です。



【開催概要】

- 名称：ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026
- 会場：Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)
- 開催期間：2026年6月11日(木)～6月13日(土)の3日間
- 開催時間：10:00～17:00(最終日は16:00まで)
- 主催：ニュースダイジェスト社
- 共催：愛知県機械工具商業協同組合
- 対象出展製品：垂直多関節・水平多関節・パラレルリンク・直交・協働など各種産業用ロボット、ガントリーローダー、AGV/AMR/AGF、ドローン、ヒューマノイド、自動倉庫、ソーター、マテハン装置・機器、ピッキングシステム、その他物流機器、各種ハンド、ロボット構成部品、周辺機器、各種センサー・制御機器、ソフトウェア、AI・

IoT 関連装置およびシステム、ロボット搭載機械・装置、自動化技術提案など

**【Aichi Sky Expo（アイチ・スカイ・エキスポ、愛知県国際展示場）について】**

2019 年に愛知県常滑市に開業した同県で最大規模の国際展示場。総展示面積は 60,000 m<sup>2</sup>。中部国際空港の隣接地に立地し、総合保税地域の機能を活用した国内で唯一の常設保税展示場。

**【ニュースダイジェスト社について】**

創業：1964（昭和 39）年 3 月 設立：1968（昭和 43）年 5 月

代表者：代表取締役社長 八角 秀（やすみ・しゅう）

資本金：2,000 万円

従業員：22 人

本社：〒464-0075 名古屋市千種区内山 3-5-3

ホームページ：<https://www.news-pub.co.jp>

概要：1964 年の創業以来、工作機械の専門誌《月刊生産財マーケティング》を中心に、FA 業界向けの図書を多数出版。2018 年には産業用ロボットに特化したウェブマガジン「robot digest」を創刊。西暦奇数年の秋には、名古屋市のポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）で国内最大級の工作機械見本市「メカトロテックジャパン（MECT）」を主催する。

**【愛知県機械工具商業協同組合について】**

設立：1949（昭和 24）年

代表者：理事長 水谷 隆彦（みずたに・たかひこ＝ミズタニ機販 代表取締役社長）

組合員：213 社 賛助会員：111 社（2026 年 3 月現在）

所在地：〒456-0032 名古屋市熱田区三本松町 16-8

ホームページ：<http://www.aikiko.or.jp>

概要：愛知県内に所在する機械工具（工作機械、産業用ロボット、自動化システム、周辺機器、工具、測定機器など）商社の協同組合。情報共有だけでなく、勉強会や若手経営者の育成と交流に力を入れる。

以上

---

本件に関する問い合わせ

ニュースダイジェスト社 ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 事務局 担当：平野、平川

Tel: 052-732-2455 Fax: 052-732-2457

公式 Web サイト：<https://robot-technology.jp>

e-mail：[info@robot-technology.jp](mailto:info@robot-technology.jp)